2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	腺腫瘍学研究	平 成人

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

（1）腫瘍学の研究者として基本的な知識を修得するため，癌の疫学，発生のメカニズム，診断，治療の全般を理解する。
（2）主な研究対象である乳癌，甲状腺癌の生物学的特徴や臨床的問題点を把握する。
（3）乳癌，甲状腺癌の新規治療薬の標的分子，作用メカニズム，臨床応用の可能性を理解し，評価する。
（4）がんサバイバーシップリサーチを学習し，現在の課題を理解する。
（5）高齢者がん治療の諸問題，包括的機能評価の意義を理解する。

授業到達目標

（1）乳癌，甲状腺癌の生物学的特徴を具体的に説明できる。
（2）乳癌，甲状腺癌に対する新規治療薬の開発状況を説明できる。
（3）乳癌，甲状腺癌におけるバイオマーカー開発状況を説明できる。
（4）がんサバイバーシップリサーチの確立したエビデンス，未解決の課題を説明できる。
（5）高齢がん患者の諸問題と，包括的機能評価の意義を説明できる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	水	16:00 - 17:00	平　成人	（1）ライフスタイルと発がん，発がん後のライフスタイルとがんアウトカムについて （2）高齢がん患者の包括的機能評価について
月１回	水	16:00 - 17:00 （交替）	岩本 高行	（1）乳癌の疫学，発生のメカニズム，診断，治療全般の解説と研究全般について （2）乳癌・甲状腺癌細胞を用いた培養実験，生化学実験,フローサイトメトリー解析，免疫組織化学的実験等について
月１回	水	16:00 - 17:00 （交替）	野村 長久	乳癌の疫学，診断に関する研究全般について
月１回	水	16:00 - 17:00 （交替）	小池 良和	乳癌・甲状腺癌細胞を用いた培養実験，生化学実験，免疫組織化学的実験等について

評価方法

（1）１・２年次に中間発表へ出席する。
（2）２年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（4）１週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

（1）毎週，実験内容の報告会を開催し，実験の指導・助言を行う。
（2）２か月ごとに教室員に向けて研究の進捗状況を報告する。

教科書

ISBN-9784307204507，乳腺腫瘍学 第４版，日本乳癌学会編，金原出版，2022

参考書

ISBN-9784307204415，乳癌診療ガイドライン１ 治療編 2022 年版 第５版，日本乳癌学会編，金原出版，2022
ISBN-9784307204422，乳癌診療ガイドライン２ 疫学・診断編 2022 年版 第５版，日本乳癌学会編，金原出版，2022

準備学習（予習・復習等）

（1）実験前に，教科書・参考書等を読み，約１時間程度の予習を行う。
（2）毎週，履修手帳に実験計画・内容を簡潔に記載する。
（3）実験終了後，その日のうちにデータを記録し，提出する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

（1）卓越した研究成果をあげ，腫瘍学の深い学識を獲得する。
（2）学術研究が国民からの信頼，負託に応えるものであることを理解し，高い倫理観を身につける。

注意事項・メッセージ

大学院生として，腫瘍学の勉強，実験に熱心に取り組んでください。
今回の研究結果が臨床応用可能となることが望まれます。